

へいせい ねんど ぶんきょうく しょうがい しゃ いきじ りつし えんきょうぎ かい
平成28年度文京区障害者地域自立支援協議会
だい かいしょうが いたうじ しゃぶ かい し だい
第5回障害当事者部会 次第

へいせい ねん がつ にち か ごご じ ふん じ ふん
平成29年3月14日(火) 午後2時30分から4時30分まで
ぶんきょう がい しょうがいしゃかいかん かいぎ しつ
文京 シビックセンター3階 障害者会館 会議室C

1 かいかいあいさつ しょうがいたうじ しゃぶ かい こわ せよしおぶ かいちよう
開会挨拶 障害当事者部会 小和瀬芳郎部会長 より

2 ぎ だい
議題

どうようだいがくふくししゃかいはいはつけんきゅう ないよう し りようだい ごう
(1) 東洋大学福祉社会開発研究センターシンポジウムの内容について【資料 第1号】

こんねんどうかつどう こうほう し りようだい ごう
(2) 今年度活動の広報について 【資料 第2号】

と ちゆうきゆうけい ふんていど
(途中 休憩10～15分程度)

しょうがいたうじしゃぶかいかつどう ふりかえ らいねんど かつどう し りようだい ごう
(3) 障害当事者部会活動の振り返りと来年度の活動について 【資料 第3号】

3 そのた
その他

じ ぜんはいふ し りよう
【事前配布資料】

し りようだい ごう どうようだいがくふくししゃかいはいはつけんきゅう こうほう
資料 第1号 東洋大学福祉社会開発研究センターシンポジウムの広報チラシ

し りようだい ごう へいせい ねんど しょうがいたうじしゃぶかい こうほうし
資料 第2号 平成27年度障害当事者部会 広報誌VOL. 1

し りようだい ごう へいせい ねんど だい かいしょうがいたうじしゃぶかい かつどう
資料 第3号 平成28年度 第1～4回障害当事者部会の活動について

とうじしゃ かつどう いぎ 当事者が活動する意義

障がいユニットでは権利擁護をセルフ・アドボカシーとしてとらえ、研究を進めてきました。

このシンポジウムは、障がいのある当事者による活動にはどのような意義があるのか、本人の視点からとらえなおす機会とします。

きちようこうえん 基調講演

とうじしゃ かつどう いぎ 「当事者が活動する意義」

奈良崎 真弓 氏 にじいりで GO ! 会長

シンポジウム

じりつしえんきょうぎかい とうじしゃ やくわり 「自立支援協議会における当事者の役割」

司会

高山 直樹 東洋大学教授 福祉社会開発研究センター研究員

とうだんしゃ 登壇者

小和瀬 芳郎 氏 文京区障害者地域自立支援協議会 当事者部会会長

竹間 誠次 氏 文京区障害者地域自立支援協議会 当事者部会委員

中村 雄介 氏 文京区障害者地域自立支援協議会 委員

荻野 陽一 氏 世田谷区自立支援協議会副会長

コメンテーター

沖倉 智美 氏 大正大学教授 東京都自立支援協議会 会長

会場

東洋大学白山キャンパス

8号館 7階

125 記念ホール

(詳しくは裏面をご覧ください)

日程

2017 年 3 月 19 日(日)

13:30 受付開始

14:00 開会

14:05 きちようこうえん
基調講演

14:40 シンポジウム

15:40 休憩

16:30 閉会

17:00 こんしんかい
懇親会 (無料)

*当日は手話通訳を用意しております。

*申込・お問い合わせは、裏面をご確認ください。

大学までの交通案内



- * 都営地下鉄三田線「白山」駅
A3 出口から「8号館」徒歩 5分
- * 東京メトロ南北線「本駒込」駅
1 番出口から「8号館」徒歩 5分

参加申込方法

事前申し込みの方は氏名・所属・連絡先を明記のうえ、**2017年3月16日(木)**までに、下記アドレス、またはFAX 番号までお送りください。当日受付もごさいます。

フリガナ	
氏名	
所属	
連絡先(E-mail or TEL)	

- ◎FAX でお申込みの場合は、この用紙にご記入のうえ送信してください。
- ◎申し込みの際に収集した個人情報は本シンポジウムの開催のためにのみ利用し、その他目的のために使用いたしません。
- ◎お申込み頂いた後確認のご連絡等は差し上げませんので、当日会場においでください。

【問い合わせ・申込先】 東洋大学福祉社会開発研究センター 担当：上西（じょうにし）

TEL/FAX 03-3945-7504 E-mail cdwsrufpwd@gmail.com

会場案内



- * 8号館の正面玄関からお入りいただき、右側のエレベーターに乗り、7階の125記念ホールまでお越してください。



ぶんきょうくしょうがいしゃ
文京区障害者

ちいきじりつしえんきょうぎかい
地域自立支援協議会

しょうがいとうじしゃぶかい
障害当事者部会

こうほうし ねん
広報誌VOL.1 ~3年のあゆみ~



こわせぶかいちょう あいさつ
小和瀬部会長の挨拶

しょうがいしゃ す まち ひと
障害者にとって住みやすい街は、すべての人(すべ
ての弱者)にとって住みやすい街です。文京区が住
みやすい街になるように、また多様な生活ができる
ように、会議で検討をして発信していきます。

とうじしゃぶかい かつどうきろく
当事者部会とは? ~活動記録~

とうじしゃぶかい ぶんきょうくしょうがいしゃちいきじりつしえんきょうぎかい ぶかい
当事者部会とは、文京区障害者地域自立支援協議会の4つある部会の1つで
す。障害を持つ人々が、自分達の暮らしについて考える場として、平成25年か
ら行っています。参加している委員としては、身体・知的・精神に障害がある人
や、難病をお持ちの方々で構成されています。

へいせい ねんど
《平成25年度》

- だい かい へいせい ねん がつ にち
第1回 (平成25年7月30日) ・ 相談支援専門部会との意見交換 (テーマ「相談について」)
- だい かい へいせい ねん がつ にち
第2回 (平成25年11月7日) ・ 就労支援専門部会との意見交換 (テーマ「仕事について」)
- だい かい へいせい ねん がつ にち
第3回 (平成26年1月16日) ・ 権利擁護部会との意見交換
(テーマ「金銭管理について/日常生活での出来事について」)

へいせい ねんど
《平成26年度》

- だい かい へいせい ねん がつ にち
第1回 (平成26年7月24日) ・ 相談支援専門部会との意見交換
(テーマ「楽しいと感じる場所について/ピアカウンセリングについて」)
- だい かい へいせい ねん がつ にち
第2回 (平成26年11月27日) ・ 就労支援専門部会との意見交換
(テーマ「職場の理解について」)
- だい かい へいせい ねん がつ にち
第3回 (平成27年2月19日) ・ 権利擁護専門部会との意見交換
(テーマ「日常生活での制限について/福祉サービスや医療の情報収集について」)

へいせい ねんど
《平成27年度》

- だい かい へいせい ねん がつ にち
第1回 (平成27年7月23日) ・ 相談支援専門部会との意見交換
(テーマ「10年後の暮らしについて」)
- だい かい へいせい ねん がつ にち
第2回 (平成27年11月5日) ・ 就労支援専門部会との意見交換
(テーマ「福祉就労と一般就労について」)
- だい かい へいせい ねん がつ にち
第3回 (平成28年2月3日) ・ 権利擁護専門部会との意見交換
(テーマ「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領について」)

さんか いいん こえ
参加した委員の声

いっぱんてき かんしん ひく くふう
なかなか、一般的な関心は低く、工夫し
た情報発信を続けることのハードルが
高い分野ですが、理解者を増やすために
も、情報発信の必要性を感じました。

まいかいとうじしゃぶかい いけんこうかん
毎回当事者部会の意見交換は、とても
勉強になります。

かいぎ で はじ
このような会議に出るのは、初めてだ
たのでドキドキしました。

ぜんかい ぶかい きぎょうじっしゅう かだい
前回の部会で企業実習の課題がありま
したが、私自身は絶対にやりたい。1度
は体験してみたい。

だい かいけんりようご にちじょうせいかつ せいげん
第3回権利擁護で(日常生活での制限
について)視覚障害者の方に対する、
接し方をご本人に教えて頂き、勉強
になりました。

ねんご じぶん はな あ とき
10年後の自分について話し合った時、
印象が、どちらかという悲観的だっ
たのが印象的でした。

いま ねんかん かくいいん あいだ ほか
今までの3年間は、各委員の間で他の
障害の理解が進みました。これから先
は、障害者と健常者との間で理解が
進み意識が改革されることを望みます。

こんねんど む
今年度に向けて

いいん はつあん なに あたら
委員からの発案によって、何か新しいこ
とができればいいと思います。

まち ある き こま
街を歩いていて、気になったことや困っ
たことがあったら、部会を通じて区に訴
えることができたらいいと思います。

じむきょく
事務局から

さくねんど じむきょく ぶんきょうくしょうがいしゃきかんそうだん
昨年度より、事務局が文京区障害者基幹相談
支援センターに変わりました。不慣れな運営
でご迷惑をお掛けしております。引き続きご
指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

と あ さき
問い合わせ先

ぶんきょうくしょうがいしゃきかんそうだんしえん
文京区障害者基幹相談支援センター
TEL:03-5940-2903
FAX:03-5940-2904
E-mail: hope@bunkyo-kikan.or.jp
はっこうび へいせい ねん がつ にち
発行日:平成28年 5月 23日

平成28年度 第1～4回障害当事者部会の活動について

◆平成28年度活動報告

(1) 第1回 (平成28年6月16日)

- ・部会委員の自己紹介
- ・障害当事者部会から発行する広報誌についての意見交換について
 広報誌は第2号、第3号の発行についても検討したい。他にインターネットを利用しての広報等も考えていきたい。みんなで話しあって広報のやり方を考えていきたい。部会委員が様々な施設まで出向き、直接広報するという方法もあると思う。『部会委員から足を運ぶのも大事な活動。』等の意見があがった。引き続き検討していく。
- ・文京区心のバリアフリーハンドブック作成の協力依頼について
 「～してあげる」という文言が多いと思った。健全者が何かをやってあげるというよりも、障害者も対等の立場であるという記載の仕方をしていただければと思う。

(2) 第2回 (平成28年8月23日)

- ・文京区心のバリアフリーハンドブックの記載内容について意見交換について
 きちんとした情報を提供し、誤解を受けないような表現をしてほしいなどの意見が出る。
- ・文京総合福祉センターまつりの参加について
 参加をして障害についての理解や部会の広報をしていければ良いのではないかと提案がある。
- ・当事者部会広報誌の配布状況について
 現在(平成28年8月23日現在)、50か所、964部を配布した。

(3) 第3回 (平成28年10月13日)

- ・他の部会当事者委員との交流及び次回座談会について
 他の部会に参加している当事者委員との交流について意見交換を行った。次回の第4回障害当事者部会には、各部会当事者委員へ声掛けをして一緒に参加してもらうことになった。
- ・文京総合福祉センター祭りの参加について
 今年度は障害者基幹相談支援センターと一緒に、委員の方々の希望を聞きながらシンポジウム企画や模擬店販売で参画していくことになった。
- ・障害当事者部会でのシンポジウムの開催・参加について
 東洋大学においてのシンポジウムを平成29年3月に開催し、当事者部会として参加することになった。

・神奈川県障害者自立支援協議会の津久井やまゆり園の事件を受けての共生社会の実現に向けた自立支援協議会の役割メッセージについて

今回のこのメッセージについて賛同される方がいれば、障害当事者部会として神奈川県障害者自立支援協議会に対して賛同メッセージを出すのはどうか。同じ意識を共有しているというメッセージを伝えていくということは重要ではないかと思う。引き続き検討していくことになる。

(4) 第4回（平成29年1月12日）

・文京区障害者自立支援協議会他部会当事者委員との交流

各委員から自己紹介をし、各部会での活動報告を行った。権利擁護専門部会委員からは、意思決定と自己決定の違いを知ったという意見があった。就労支援専門部会委員からは、部会への出席経験はないが、今後は働きたいと思っているという話があった。相談支援専門部会委員からは、当事者とその親が高齢化している問題や、文京区内には空き家が多く、民間で利用が出来ないかという意見があがっていた。当事者部会委員からは、当事者部会の平成27年度の活動報告を行った。

・文京区障害者当事者部会でのシンポジウムの参加について

平成28年3月に東洋大にて当事者の方によるシンポジウムを開催した。今年度も開催の運びとなった。日時としては3月19日(日)午後で、場所は東洋大学内の100人収容の会場を予定している。横浜市在住の障害当事者である奈良崎真弓氏が参加予定。お互いの障害に関する理解が深まったという話が出来れば良いと思う。また、国立市の当事者の方も当日参加予定となっている。一芸披露やシンポジウム終了後には打ち上げを予定している。上記の内容をもとに意見交換や役割分担等を行った。

・文京区障害者差別解消法グッズの内容について

障害福祉課では、昨年4月の障害者差別解消法の施行を受けて、障害理解の促進のための取り組みとして、子供や民間事業者を対象とした啓発グッズを作成する運びとなった。①カルタ ②カレンダー③クリアファイルの作成を予定している。委員から視覚障害の方でも分かるような作成にして欲しいという声や触図は入るのかという質問があったが今回は予算上難しいかもしれないと返答があった。

・その他

虐待防止講演会の案内があった。また、他部会委員との交流時間がもっと欲しかったという感想があった。